## がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	DHAP(NHL)
診療科名	血液・腫瘍内科
診療科責任者名	末永 孝生
適応がん種	再発または難治性の中悪性度リンパ腫
保険適応外の使用	□有 ■無

がん治療ワーキンググループ使用欄		
登録番号	NHL-039	
登録日•更新日	2020年4月28日	
削除日		
出典	Blood. 1988 Jan;71(1):117-22	
入力者	湯山 聡	

## 投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
No.1	シスプラチン (シスプラチン注)	10mg、50mg	100mg/m2	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他( )	24時間	day1
	生理食塩液	500mL	※溶液が合計500mL			
No.2	シタラビン (シタラビン点滴静注液、キロサイド注)	400mg, 1g	2g/m2 /dose 12時間ごと	□IV ■DIV ■CVポート □側管 □その他( )	3時間	day2
	生理食塩液	500mL				
No.3	デキサメタゾン(デキサート注射液)	1.65mg, 6.6mg	40mg/body	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他()	15分	day1-2
No.4	デキサメタゾン(デカドロン錠4mg)	4mg	40mg/body	□IV □DIV □CVポート □側管 ■その他 (内服)	1回/日	day3-4

1コースの期間	28日	
投与間隔の短縮規定	■短縮可能(7日)・□短縮不可能	
計算後の投与量上限値	110%	
計算後の投与量下限値	50%	
減量・中止基準	【減量基準】 ・シタラピン >70歳 : 1g/m2 ×2 へ減量 ANC <200/μL : 1g/m2 ×2 へ減量 Plt <20000/μL : 1g/m2 ×2 へ減量 好中球減少症に関連した敗血症 : 0.5g/m2 × ・シスプラチン Scr 1.5-2.0mg/dL : 75mg/m2 へ減量 Scr 2.1-3.0mg/dL : 50mg/m2 へ減量	1 へ減量
前投薬	アプレピタント + 5-HT3受容体拮抗薬	
【シスプラチン】 ・シスプラチンのハイドレーションは当院の その他の注意事項 【シタラビン】 ・眼症状の予防のために、副腎皮質ホル使用すること。		こ従うこと。 到(フルオロメトロン点眼液0.1%、ベタメタゾン点眼液0.1%等)を

記入者	湯山 聡
確認者	竹内 正美